



関心と創造力を伸ばす

1月31日(土)、サンクチュアリセンターつきだて館で「みんなでつくる こんちゅうずかん」が開催されました。この催しは、生き物への関心と創造力を養ってもらおうと小学生を対象に開催されたもので、当日は、小学生8人が参加しました。

子どもたちは、プロのクリエイターから、描き方のアドバイスを受けると、さっそく思い思いに昆虫を描き、会場は子どもたちの楽しそうな笑顔に包まれました。今後、描いた絵は図鑑としてまとめ、発行されます。



子どもたちの楽しそうな笑顔に包まれました。今後、描いた絵は図鑑としてまとめ、発行されます。

親子で食と健康に関心高める

1月31日(土)、栗駒みちのく伝創館で「親子スイーツ作り教室」が開催されました。

この催しは、親子で一緒に果物を使ったスイーツを作り、食と健康に関心を高めてもらおうと開催したもので、当日は、10人の親子が参加しました。

教室では、講師からクレープの調理方法や果物の飾り切り方法が紹介され、参加者は、果物が美しい



形に変化した様子に驚いたり、クレープが焦げないように注意しながら焼き、親子で楽しいひと時を過ごしていました。

音楽で栗原を元気に

2月1日(日)、イオンスーパーセンター栗原志波姫店で「くりはら おとりの市」が開催されました。

この催しは「音楽で小さな町おこしを」をコンセプトに初めて開催されたもので、市内外の音楽グループ7団体が出演しました。

演奏では、主にフォークソングが披露され、観客たちは、曲に合わせて腕をゆくりと振る様子や、



リズムに合わせて体を揺らす様子が見られました。「くりはら おとりの市」は、今後、毎月第1日曜日に無料で開催予定です。



各地区の催しを、毎月5地区ずつ紹介します。取材を希望する場合は、催しを開催する2カ月前までに、市政情報課(☎22-1126)へ連絡してください。

迫力の演奏が会場を包む

2月1日(日)、若柳ドリーム・パルで「みちのく太鼓まつり〜結〜」が開催されました。

この催しは、太鼓演奏で地域の活性化に取り組む市内の太鼓演奏団体が初めて開催したもので、当日は、市内外から8団体が出演し、力強く、素早いばちさばきと、迫力の演奏を披露しました。

このうち、全ての出演団体が、ステージ上いっば



いに広がった協演では、迫力の太鼓の音色が会場全体に響いて観客を圧倒し、会場からは、たくさんの拍手が送られました。

雪っこまつりで雪遊びを満喫

2月7日(土)と8日(日)の2日間、国立花山青少年自然の家で「第21回花山雪っこまつり」が開催されました。

この催しは、雪を生かした地域の活性化と雪遊びなどの野外体験活動を通じて、子どもたちの成長を後押ししようと開催されたものです。

当日は、スノーチューブ滑りや雪の中から宝物を



探す雪中宝探しなど、さまざまなイベントが行われ、参加した子どもたちは、雪にまみれながら雪遊びを満喫していました。



杉浦さんがふるさとづくり大賞

2月10日(火)、東京都千代田で開催された「令和7年度ふるさとづくり大賞表彰式」で、杉浦風ノ介さん(栗駒六日町)が総務大臣賞に当たる「ふるさとづくり大賞」を受賞しました。

これは、栗駒地区の六日町通り商店街に賑わいを取り戻した功績が評価されたものです。

受賞に当たり杉浦さんは「長年、商店街の人たちが続けている商いや暮らしの上に受賞があります。六日町らしく合議を重ね、無理なくふるさとづくりを続けたい」と受賞を喜んでいました。



(上段左から)菅原さん、高橋さん (下段左から)西村さん、佐々木さん

小学生ソフトテニスの頂点へ

3月29日(日)から31日(火)にかけて、千葉県白子町のサニーコートで開催される「第25回全国小学生ソフトテニス大会」に、鶯沢小学校5年の菅原あかりさん(鶯沢駒場上)、栗駒南小学校5年の高橋凜さん(栗駒桜田下)、栗駒小学校4年の西村望叶さん(栗駒下小路)、金成小中学校4年の佐々木巴さん(金成南1)が出場します。

4人は全国大会を前に「大会では、宮城県の代表として1つでも多く勝ちたい」と、意気込んでいます。



真坂商店街に一足早く春到来

2月7日(土)、一迫地区真坂商店街で「第61回春を呼ぶ裸たるみこし」が開催されました。

この祭りは、一迫青年会を中心に企画されたもので、今年1年の無事と、子孫繁栄や無病息災などを願いながら、酒だるを乗せたみこしを担いで地区内を練り歩くものです。

当日は、さらしや法被姿の男女約60人が、力水を受け、立ち上る湯気と共に「ワッショイ、ワッショイ」と威勢のいい掛け声を上げ、すぐそこまで来た春を力強く呼び込んでいました。



(写真左から)長澤さん、鈴木さん

練習の成果を全国でも

3月20日(金)から25日(水)にかけて、岡山県倉敷スポーツ公園マスカットスタジアムなどで開催される「第17回全日本少年春季軟式野球大会」に、金成小中学校8年の長澤広翔さん(若柳有賀)と鈴木健ノ介さん(金成南2)が、大崎市の大崎西部ベースボールクラブの選手として出場します。出場を控え長澤さんは「チームを勝利に導けるプレーを全力でしたい」と、鈴木さんは「一戦一戦チーム一丸となり、全国大会優勝を目指します」と語り、大会に向け意気込んでいます。